

広域振興局長

提出者 岩手農協チキンフーズ株式会社
住所 岩手県二戸市石切所字火行塚25
氏名 代表取締役 十文字 保雄

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	八幡平工場	* 整理番号			
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県八幡平市平笠第19地割50-2	* 受理年月日	年 月 日		
エネルギー使用量	2,449 kl	* 施設番号			
自動車の使用台数	台				
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。				
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況					
その他の地球温暖化の対策の実施状況					
変更年月日及び理由	年 月 日				
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない				

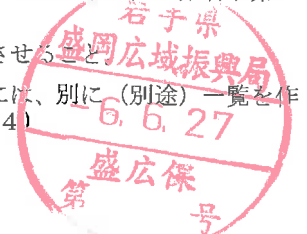
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
八幡平工場	岩手県八幡平市平笠第19地割50-2	2,449 kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

(A4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(令和 5) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位 B	熱量(GJ) C	数値 D	単位 E	熱量(GJ) F					
化石 燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL		kL							
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL							
	揮発油(ガソリン)		kL		kL							
	ナフサ		kL		kL							
	ジェット燃料		kL		kL							
	灯油	15.84	kL	578	kL		578	40		40		
	軽油		kL		kL					13		
	A重油	729.81	kL	28,389	kL		28,389	2,009	1,232	777		
	B・C重油		kL		kL							
	石油アスファルト		t		t							
	石油コークス		t		t							
	石油ガス	0.02	t	1	t		1	0	2	-2		
	可燃性天然ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t						
		石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³						
	石炭	液化天然ガス(LNG)		t		t						
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³						
		原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
国産一般炭				t		t						
輸入無煙炭			t		t							
石炭コークス		t		t								
コールタール		t		t								
コークス炉ガス		千m ³		千m ³								
高炉ガス		千m ³		千m ³								
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³								
低炉ガス		千m ³		千m ³								
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³							
	()											
非 化石 燃料	()											
	黒液		t		t							
	木材		t		t							
	木質廃材		t		t							
	バイオエタノール		kL		kL							
	バイオディーゼル		kL		kL							
	バイオガス		千m ³		千m ³							
	その他バイオマス		t		t							
	RDF		t		GJ/t							
	RPF		t		GJ/t							
	廃タイヤ		t		GJ/t							
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t							
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t							
	廃油		kL		GJ/kL							
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³							
	混合廃材		t		t							
	水素		t		t							
	アンモニア		t		t							
	その他燃料()											
	小 計 ①							28,988	2,049	1,245	804	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ							
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ							
	温水		GJ		GJ							
	冷水		GJ		GJ							
	地熱		GJ		GJ							
	温泉熱		GJ		GJ							
	太陽熱		GJ		GJ							
	温水熱		GJ		GJ							
	小 計 ②											
	電気事業者①	7,351.19	千kWh	63,514	千kWh		63,514	3,507	2,507	1,000		
電 気	電気事業者② ※既設契約している場合使用		千kWh		千kWh							
	自己発電(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh							
	自家発電	太陽光	682.40	千kWh	2,457	千kWh		2,457				
		水力		千kWh		千kWh						
		風力		千kWh		千kWh						
		その他		千kWh		千kWh						
	小 計 ③							65,971	3,507	2,507	1,000	
合 計 ④=①+②+③							94,939	5,555	3,751	1,804		

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,449	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	5,555	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		5,555	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2024年度までに2021年度比で13%(再エネで10%、省エネで3%)削減を目指しているところ、2023年度は、原油換算量で原単位14%削減となった。
CO2排出量では、東北電力の係数が2021年度よりも高い為、原単位4.5%の削減にとどまった。

【具体的な取組状況】

○省エネ

- ・電気 5年計画での古い高圧電気設備の更新(省エネ変圧器の導入等)
稼働時間により合わせるよう、冷凍機、動力運転時間の管理を行っている。
昼休憩時に、機器の電源が落とされているかチェックする省エネ巡回を行っている。
- ・重油 高効率ボイラーの運用中。
排出する空気、水からの熱交換を行い、効率の良い運用を行っている。
蒸気での加温箇所、スチームトラップを効率の良いものに交換し、無駄のない運用を行っている。
熱交換加熱から、タンクを使用した加熱に変更し最低限のドレン排出のない効率的な運用を行う。

○再エネ

- ・電気 2023年6月に太陽光発電の稼働を開始し、2023年度における発電量実績は682千kWhとなった。

○その他

毎月のエネルギー使用量を会議で報告し、現状の把握・改善を行っている。
社内で電気、重油使用量の見える化を行い、意識付けを図っている。
環境面を考慮するため燃料費等のCO2削減に貢献できる設備投資を考えている。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

・コピー用紙の両面印刷や製本印刷を活用し、ペーパーレスに努めている。